



No.30 生ごみから水をしぼり出す 人の健康と地球を守りましょう

実践者 長井 笙 実践期間 毎夏 活動地域 仙台市泉区 参加人数 1名

私は主婦になって38年間、夏になると必ずやって居ることがあります。それは生ごみの水分をなるべく減らすこと... お金がかかる事や難しいことはできませんので、誰にでも出来る省エネをしています...



No.33 私の省エネ

実践者 個人 実践期間 2008年5月～現在 活動地域 仙台市泉区 参加人数 1名

お金がかかる事や難しいことはできませんので、誰にでも出来る省エネをしています。 ①部屋の明かりを二番目の明るさにしている...



No.38 つくる人とたべる人をつなぐ

実践者 食育NPO「おむすび」 実践期間 2008年4月～現在 活動地域 大崎市 参加人数 268名(参加者、講師、関係者のべ合計)

食をテーマに地産地消をさまざまな普及啓発を通して多くの人々に伝えています。 ①ただの料理教室ではない「料理教室」...



No.40 3Re:n

実践者 3Re:n 実践期間 2007年10月～現在 活動地域 仙台市太白区 参加人数 20名

私たちは毎年行われる大学祭において、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進する活動を行いました。...



No.34 みどりのカーテンプロジェクト

実践者 加美町役場 町民課 実践期間 2008年6月～現在 活動地域 加美町 参加人数 20名

加美町では、役場庁舎の壁面緑化の実験『みどりのカーテンプロジェクト』を、地域住民のボランティアの協力を得て、役場と障害者自立支援センター『菜夢(らいむ)』さんと協同で実施しました。



No.35 大規模市民マラソンの実施&ノーカーデー

実践者 竹俣 正之 実践期間 現在 活動地域 仙台市泉区 参加人数 将来目標1万名

お盆の時期になると、大都市の中心部には車が激減、青空と静けさが戻ってくる。ほんの一時だが、ホッとすると共にすがすがしい気分になる。...



No.41 自然に

実践者 吉田 勲 実践期間 現在 活動地域 仙台市泉区 参加人数 1名

金をかけないこと 継続できること 特に必要なこと できればやる程自分に帰って来ること 健康に良いこと (良い一言(五こと))



No.42 ラジオで見せる?エコ・ヒント!

実践者 小林 純一 実践期間 2007年4月～2007年12月 活動地域 仙台市泉区 参加人数 約700名

地域のFM番組のコーナーをボランティアで担当して毎週1度、小学生低学年の児童と高齢者を交互に訪ねて、過去・現在・未来の楽しみ、熱中した・してる・しそうなことを聞き出す取材。...



命をつなく最後の切札「太陽光発電」 No.43

実践者 小笠原 博
実践期間 2006年9月~現在
活動地域 仙台市泉区
参加人数 1名

我家では、3.2kwの太陽光発電を設置しています。



京都議定書の目標に対して、現状は6.2%増加している状態である。もし6%の削減ならば、ひょっとしたら努力と我慢で可能かもしれない。しかし近い将来、仮に60%削減しなければならないとなると話が違ってくる。エコバッグやアイドリングストップ等

だけでは到底達成不可能な数字である。そのためには今すぐにもCO₂発生の原因となっている化石燃料の使用をやめなければならない。最も多くCO₂を発生させているものの一つは火力発電である。CO₂を発生させない発電に原子力発電があるが、原子力発電所は個人では作れない。ところが、自然エネルギーの一つである「太陽光発電」は個人で今すぐできる技術である。車1台分の費用(およそ200万~250万)をかけて、各家の屋根の上に太陽電池を取り付けられればよい。

少し費用がかかるためか、このことを責任のある立場の人が声を大にして言ったのは聞いたことが無い。しかしながら人間が地球上で生活できる環境を守っていくには、今や多くの家庭や事務所、施設等で太陽光発電を取り入れるしか方法がないと考える。まさに命をつなく「最後の切札」と言える。

連絡先
電話 022-379-7441 FAX 022-379-7441
住所 〒981-3215 仙台市泉区北中山1丁目24-4
メール oga-chan@mue.biglobe.ne.jp
URL http://www.5b.biglobe.ne.jp/~oga-chan/

1日エコライフ No.44

実践者 みやぎ生活協同組合
実践期間 2008年6月~2008年8月
活動地域 仙台市泉区
参加人数 5,621名

エコライフデー(任意の1日)を決めて、10項目のエコライフ項目に取り組みます。

1. 買物袋を持って買い物に行き、レジ袋をもらいません
2. 県産品や産直品を利用します
3. エコラベルや省包装の商品を選びます
4. リサイクルに協力します
5. 車の使用を控えます
6. だれもない部屋の明かりを消します
7. 見ていないテレビを消します
8. 冷房の温度設定は28℃にします
9. 歯磨きや顔を洗うときは水を流しっぱなしにしません
10. あなた独自の目標



それぞれの項目ごとに削減CO₂量を表すことで、温暖化防止に貢献していることを実感してもらえるようにしました。

期間が1日に限定されるため、取り組みやすく、多くの人に参加できます。家族と一緒に取り組む事で、くらしの見直し・省エネについて考えるきっかけになります。10項目に自分の目標を考える事で、家族や周囲の人たちとエコライフについて話し合うきっかけになります。

連絡先
代表者 芳賀 唯史 担当者 昆野 加代子
電話 022-218-3880 FAX 022-218-3663
住所 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2生活文化部
メール kankyouk@snet.coop.or.jp
URL http://www2.miyagi.coop/

「雨水パッコン」取付けて 雨水利用しませんか? No.45

実践者 株式会社 三創
実践期間 現在
活動地域 仙台市宮城野区
参加人数 15名

三創のエコ活動は屋根工事業者としての視点から雨水利用のエコ活動です。「雨水パッコン」取付けて、雨水利用しませんか?のキャッチフレーズで行っています。



当社で取り扱っている商品「雨水パッコン」は雨どいに取付けて、ガーデンや家庭菜園・庭の散水に雨水を利用するのに便利なものです。

取付け方法は簡単ですが、雨どいを切断することが一般の方には不安があるようなので、取付け説明会を開催し、手順の紹介はもとより取付け実例の紹介や実際にトイを切断したりの実体験をしてもらっています。当社敷地に雨水利用のサンプルガーデンや取付け手順実演コーナーなどを整備しました。

ご自分で取付けが不安な方には当社が取付け工事も行っていますが、沢山の方に広まっていく事を考えると、多くの方に取付け方法を実践する事がいと考えています。実物を触りながらの説明は、雨水利用が身近に感じてもらえるようです。

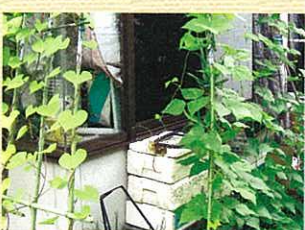
当社のホームページに取付け手順はもとより、蚊対策や沢山ためる工夫などの情報と今年は雨水を利用してゴーヤのグリーンカーテンも作り雨水利用+日よけ効果+収穫とエコを楽しく進めることができた様子を掲載しています。

連絡先
代表者 三品 和美 担当者 三品 茂子
電話 022-388-1391 FAX 022-388-1393
住所 〒983-0822 仙台市宮城野区燕沢東1-10-30
メール info@yane-sanso.com
URL http://www.yane-sanso.com/

私に出来る環境学習・省エネ作戦 ~あなたもやってみよう! No.46

実践者 三浦 高明
実践期間 2007年1月~現在
活動地域 仙台市太白区
参加人数 5名

「自ら学び、行動する」最初に、現在我々人類が置かれている地球環境の現状について学び、我々がやらなければならない課題について考える。その上で現在、顕在化してきた温暖化問題やエネルギー問題に関わって我々に出来る事は何なのかについても考える。その上で、我々1人1人に出来る事にはどんな事があり、どのように行動していけば良いのか追及する。



「どこまで出来る省エネ」1人の人間がどこまで省エネを実践出来るか。また、それを周りの人々にどのように伝え、実践出来るようにしていくかを検証する。具体的には、大学や諸施設が実施する様々な環境教育やエコに関わる催し物に参加し学び、相談し、実践可能なエコ生活を指向する。

例えば、エコ運転や節電、節水、緑化など家庭でも出来る省エネ作戦を自ら実践し、その結果を踏まえながら、周りの人々へ省エネの必要性を知らせ、行動に移していけるように手助けを行う。

連絡先
電話 022-228-1275 FAX 022-228-1275
住所 〒982-0823 仙台市太白区恵和町3-25
メール koumei@h.vodafone.ne.jp

とにかくやってみる作戦 No.47

実践者 個人
実践期間 2007年2月~現在
活動地域 仙台市青葉区
参加人数 1名

宮城県内の環境団体にて一年間アルバイトをしたノウハウをいかして、省エネに取り組みました。前年まではコンセントを抜いて待機電力の削減に努めたのですが、今年に入ってエコタップを購入し使わない電気のスイッチを切るようにしています。



また今年の夏は暑くなかったのも幸いして昨年に引き続きエアコンを一度も使用していません。また寝苦しい時はお店で買った保冷材を首や手首につけて寝ています。これは暑ければ暑いだけ快適さを感じます。

わたしの省エネ術パート2 No.48

実践者 個人
実践期間 2006年7月~現在
活動地域 仙台市青葉区
参加人数 1名

大阪から仙台に来て3回目の夏。仙台は大阪と違い夏は涼しいので、エアコンを使わずにひと夏過ごす事を目標にして、現在もエアコンなしの省エネ生活を続行中。



また省エネだけではなくお気に入りのマイバッグでレジ袋や箸などを貰わない取組みも実践しています。また、この事をきっかけに様々な省エネに取り組んでいます。夏/エアコンを使わないようにする、電気をなるべくつけない、保冷材を枕に活用 冬/厚着をしてなるべくストーブをつけない、ペットボトルにお湯を入れ湯たんぼ代わりに、毎週土曜の夜7~9時はキャンドルナイト 一年中/エコバッグ、通勤は車等を使わず毎日徒歩、お弁当はタッパーでラップ削減

何でもエコエコ No.50

実践者 個人
実践期間 2008年1月~現在
活動地域 富谷町
参加人数 3名

環境団体に勤務していて、そこで得られた知識を活かし取り組みをしています。

- ①ポケットにはいつもマイバッグを作戦
 - ・自分はマイバッグを常に持ち歩いており、取組みを始めてからレジ袋を買った事はありません。
 - ・過剰包装は断っています。
 - ・買い物をする際に地産地消にこだわり、なるべくフードマイレージの低いものを買うようにしている。また環境にやさしい商品を買うようにしている。
- ②省エネ
 - ・エコタップを活用して待機電力を極力カットしています。
 - ・寒い時はカーテンの下の隙間を加工したダンボールでふさいで暖房効果を上げている。また結露防止にもつながっている。
 - ・寒いときに布団の下に断熱シートを敷き、寒さをカット。
 - ・暑い時もエアコンの使用は極力避けている。またどうしても使用するときはタイマーを一時間にし、それ以上はつけない。
 - ・テレビは見たいものしか見ない。それ以外は本などを読むようにしている。
 - ・そう遠くないところは車を使わず自転車通勤頑張り。



家族みんなに優しい 高気密・高断熱~FPの家~ No.51

実践者 (有)角栄ホーム
実践期間 1997年5月~現在
活動地域 名取市
参加人数 10名

弊社で採用している「FP軸組工法」(=FPの家)は、日本の伝統的な家づくりの工法と、高性能のウレタン断熱パネルを組み合わせて開発された工法技術です。「FP軸組工法」は、木造建築物の建築方法で特許を取得しています。「FPの家」は高断熱高気密性能により、少ないエネルギーを効率よく活かすことができ、家計にも負担の少ない住まい。また、計画換気により全室を常にクリーンに保ち、温湿度ムラの少ない省エネルギー健康住宅を提供しています。FP硬質ウレタンは、フロンを一切使わない水発砲方式により、オゾン層破壊防止や地球温暖化防止効果の高い、環境に優しい住宅です。



連絡先
代表者 板橋 満 担当者 今野 たか子
電話 022-384-9222 FAX 022-384-8984
住所 〒981-1231 名取市手倉田字環根388-8
メール cdr39620@par.odn.ne.jp
URL http://web.fp-group.gr.jp/kakuei/



家族で丸ごとエコ

No.52

実践者 個人

実践期間 2008年2月～現在
活動地域 富谷町
参加人数 4名

小学一年生になる息子が、学校で地球温暖化の話聞いてきて、「家でも何かできない？」と聞かれ意識するようになり取り組みを始めるようになった。

- 今まではゴミの分別を子ども達に徹底させていなかったが、ブラや紙マーク、アルミやスチールなど分別について教えてゴミ捨て担当になってもらっている。(保育園の弟、妹も協力)
- エコバックを常に持ち歩きレジ袋を買わないようにしている。
- 電気消費を減らすために食事中はテレビをつけないようにしている。
- なるべく一部屋に集まる時間を長くして他の部屋の電気や冷房を消すなど気をつけている。



水道代の節約・電気代の節約

No.54

実践者 安梅 祐紀子

実践期間 現在
活動地域 仙台市青葉区
参加人数 1名

水道代の節約

・天水桶を設置した事とお風呂の残り湯を洗濯とポリバケツにストックする事。入浴用のお湯は2人世帯なので2回迄使用し、2度目の入浴はあがり湯にシャワーをかける。水道料金の平均は5,500円前後迄。



電気代の節約

・庭の前が市の緑地帯でもあり、我家は窓も多く風通しがいい。ヨシズやスタレの活用で日除けをする事により、扇風機の出番も少ない。

出来るところから始める環境への思いやり

No.56

実践者 東和レジスター仙台販売株式会社

実践期間 2008年7月～現在
活動地域 仙台市太白区
参加人数 30名

地球温暖化防止への取り組みで何が会社で出来るか？と考えた時、毎日の業務で使用する車の使い方、省エネ効果の冷房温度の調整、照明のごまめな入切り…すでに自宅や事務所で行なっている方達も多しと思えます。

弊社は24年前からLED情報看板を取り扱い、省エネをアピールし続けてきた実績があり、今でもその姿勢を維持し続けています。

そんな中、事務所の中で残っている「あ」とは何が出来る？」と考えたとき、普通の蛍光灯がもっと省エネに出来たら…となったわけです。

LEDの電球はあるけれど、一般の蛍光灯がそれになるならかなりの省エネにはずだと思いましたが、また、仕切りのない事務所では、照明を消したりすることが出来ないで、明かりが点いていても通常の三分の一の消費電力なら電気使用量の削減にもかなり効果が期待出来ます。何より、使用しながら効果が出る、貢献が出来ることが重要だと思えます。また、LED照明は寿命がとて長く、廃棄されるゴミの減量や、材質がリサイクル可能な部材なので、良い事尽くめなのです。

会社の中で一番何気なく使っている照明が、そのままエコ照明に切り替えられる簡単さ、まずは出来ることから始めてみようと思えます。



連絡先 代表者 日黒 一夫 担当者 高階 浩幸
電話 022-246-8481 FAX 022-246-4851
住所 〒982-0024 仙台市太白区砂押南町6-5
メール tw-sendai@towa-sendai.co.jp
URL http://www.towa-sendai.co.jp/

広瀬川1万人プロジェクト

No.57

実践者 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

実践期間 2002年9月～現在
活動地域 仙台市青葉区
参加人数 約650名

100万都市、仙台市の1%の1万人をキーワードとして、多くの人に広瀬川へ関心を寄せてもらいたい、広瀬川に親しんでもらいたいという想いから、「広瀬川1万人プロジェクト」を実施しています。広瀬川でつながった37団体(企業)が実行委員会を構成し、広瀬川をより魅力的な川にするために、広瀬川流域の一斉河川清掃を行います。9月には広瀬川流域12会場で開催し、草木の茂らない4月には、特にごみの多い上流と海岸の2つの会場にて清掃活動を行います。清掃活動は誰でも気軽に参加できるので、広瀬川に関心を持ちきっかけになってもらいたいと思っています。また、この活動は、単なる清掃活動で終わるのではなく、この一斉清掃を通して、広瀬川や地球温暖化などの環境問題を考えるきっかけにもなり、日頃の生活を見直すことにもつながります。さらに、広瀬川を流域の視点で考え、広瀬川でつながったNPO、企業、学校、行政など、さまざまな分野のみなさんの情報交換や交流の場ともなっています。



連絡先 代表者 新川 達郎 担当者 鎌田 直樹
電話 022-723-1390 FAX 022-723-1391
住所 〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目14-26保坂ビル 303
特定非営利活動法人水環境ネット東北内
メール mizunet@michinoku-kawa.net

実践！お財布にやさしい省エネ

No.58

実践者 個人

実践期間 2000年4月～現在
活動地域 仙台市太白区
参加人数 1名

自分にできる省エネルギーを実践しています。省エネのいいところは、地球環境にもお財布にもやさしいこと。電化製品のコンセントをこまめに抜くことや省エネタップ・省エネ電球の使用など、できることから1ずつ実践しています。さらに、省エネを実践することで、省エネに関する関心がどんどん高まっています。新しい省エネグッズや省エネ情報を見つければ、すぐにチェック！また、家庭の中で実践することで、家族への普及効果につながっています。



ひとりからできること

No.59

実践者 個人

実践期間 2007年8月～現在
活動地域 仙台市青葉区
参加人数 1名

・マイ箸、マイボトル、マイバッグを毎日持参！以前は一日一本ペットボトルを購入していましたが、今はマイボトル持参。保温のできるマグなので、冬も温かいお茶が飲めるし、出費は激減です。週5日、1か月20本のペットボトル代3,000円が浮くので、年間36,000円の節約になります。余裕でiPodが買えます。

・地場の食べ物、オーガニック製品、エコ製品の購入！

西友などの大手スーパーではなく、地元のスーパー・商店でできる限り購入。有機野菜はお財布に優しいので、少なくとも調味料や乾物などはオーガニック製品にしています。石鹸・シャンプー・リンスなどもオーガニック製品です。紙製品はもちろん再生紙100%です。全部は無理なので、できる範囲はエコ製品を取り入れています。

・エコを広める！

環境系のNPO団体でのインターンから、田植え、環境の講座の受講、ボランティアなどに積極的に取り組んでいます。また、友人とサークルを立ち上げ、今年11月には東北大学学園祭で「おいしいコーヒーの真実」というフェアトレードに関する映画上映や展示を予定しています。



今野家エコ実践計画2008

No.60

実践者 今野 勇

実践期間 2004年～現在
活動地域 名取市
参加人数 家族4名

我が家では省エネ、省資源、ごみの削減・リサイクル、水や空気などを汚さない、この4つのキーワードを基に環境に配慮した生活を実践しています。特に健康であるための環境を考え、ロハスの暮らしを実践しています。また私たちの生活では「食の省エネ」なども大切なメタボ対策になることもアピールしています。更に自然エネルギーを導入することでより自然を愛し、地球環境を大切にしていることもアピールしています。



太陽光発電を導入したことから、省エネを中心にさまざまな取り組みを実施。取り組みの実績を確認するためにも数値をグラフ化し、その結果についても確認し、次の取り組みに役立っています。

連絡先 住所 〒981-1225 名取市飯野4丁目2-12

らくらく実践エコライフ

No.62

実践者 個人

実践期間 2007年6月～現在
活動地域 仙台市宮城野区
参加人数 2名

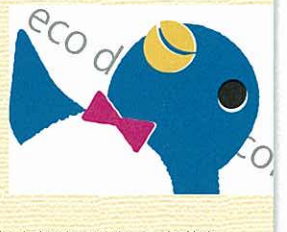
テレビで得た情報を自分の生活に即活用！

我慢することも少なく、無理なく快適なエコライフを送っています。

まず、これまでは飲み物はペットボトルで買っていたのですが、今はかわいいタンブラーを購入し、お茶を入れて会社に持参しています。見た目のおしゃれさだけでなく、お茶も冷たいままで飲めるので今は手放せません。

その他にも、お皿を洗う時は古新聞で汚れをふき取る、お風呂掃除はお風呂を上がる時にすると洗剤なしでも汚れが落ちやすいなど、すぐに実行できて長く続けられるエコな事を、どんどん生活の中に取り入れています。

最近はおしゃれなエコグッズも増えてきて、楽しく取り組めるものが多いですね。これからも新しい情報を得て、よりエコライフを充実させたいと思います。



Media

各メディア展開

学生発！身近なところから (マイバッグ・紙資源リユース活動)

No.64

実践者 RNECS

実践期間 2000年1月~現在

活動地域 仙台市青葉区

参加人数 約20名

RNECSは仙台市内の様々な大学の学生が集まって「楽しく・お得に・カッコよく」をテーマに活動している環境サークルです。

学生・若い人はあまり環境活動に興味ないんじゃない？と思うかも。でもこれから社会に出ていく存在だからこそ、誰にでも身近で簡単にできることからやってみましょう！と啓発していくことは大事なはずです。

例えば、今では買物で当たり前のマイバッグ、様々な種類があるけれど持つてくる人って意外と少ない。買い物って毎日できる身近なエコの実践の場なのに。そこでRNECSでは、愛着を持って長く大事に使ってほしいというコンセプトのもと、無地のバッグに色塗り・デザインした自分だけのオリジナルマイバッグを見つけて使ってもらおう！という活動をしています。マイバッグは東北大学の生協店内でも販売して学生にも使ってもらっています。

また東北大学内では、ピラやフリーペーパーなど一度読んですぐ捨てられてしまう紙資源を回収し、まだ使えるものは裏紙として活用してもらえようという紙回収BOXの設置も行いました。今は部屋に眠っている教科書ももったいない紙資源としてリユースしてはいかがでしょうかと考えています。

気付いたところから簡単に身近に行えるエコな活動は誰にでもあるはず。それを同世代の学生・若い人向けにも発信していきたいと思っています。

代表者 小吹 拓也 担当者 大木 博文
メール mecs@hotmail.com
URL http://mecs.michikusa.jp/



やさしく、おいしく、無駄なく、健康に...

No.67

実践者 真・海(味)・菜・食 しん

実践期間 2007年4月~現在

活動地域 仙台市青葉区

参加人数 1名

地産地消、地元の食材、住んでる地域の近い所のものを食べ、健康に。身体にやさしく新鮮なものだから、捨てる部分も少なくゴミも少なく、輸送費、コストも少なく。生産者の取り組み、"みやぎ"の見えない小さな各々のエコも食べ物、日本酒(地酒)などを通して楽しく、おいしく少しずつ伝えながら...



代表者 根本 真 担当者 根本 真
電話 022-728-4775 FAX 022-728-4775
住所 〒981-0917 仙台市青葉区葉山町5-16
URL http://blogs.yahoo.co.jp/shin_shin_728

広げよう笑顔の輪！ チーム・スマイルメーカーズ

No.66

実践者 チーム・スマイルメーカーズ

実践期間 2007年6月~現在

活動地域 仙台市太白区

参加人数 20名

私たちチーム・スマイルメーカーズは環境・児童・国際・福祉の4分野に分かれて様々なボランティア活動を行ってきました。その中で環境分野ではキャンパスを改善して「人も地球も笑顔にしよう」をモットーに人の心をちょっとだけエコになるようにおもに4つの活動を行ってきました。活動内容としては、地域密着型のごみ拾い、学内でのペットボトルキャップ回収、地域の児童館で子供たちに対して行う環境教育、学内のごみ箱を調査し学生に報告する資源調査隊活動を行っています。私たちは学校とその周辺から環境に対する意識を改善する人の輪を広げていけるように様々な活動に取り組んでいます。また環境問題にとどまることなくボランティアサークルとして、人のためになる活動を積極的にを行っています。



連絡先 代表者 中澤 佳樹 担当者 古田 嘉広

フリーマーケット推進普及活動& X-one(エクスマン)のサポート事業

No.68

実践者 G.S.A宮城 石巻・東松島チーム
G.S.A宮城 大崎チーム

実践期間 2000年~現在

活動地域 東松島市・大崎市

参加人数 約20名

- ・社会環境~現在地球全体に問題となっている事や世の中の大きな問題など
- ・生活環境~自分達一人一人に直接大きく関わってくる問題など



※自分達の身近な生活環境をよくしようとするには、まず社会問題となっている大きな問題を解決させなければなりません。社会的に問題となっている事を一人一人が直接意識していかなければ自分の生活の環境を変化させていくことはとても難しいでしょう。

連絡先 代表者 辺見政美、佐々木美香
URL http://www.gsa.or.jp/



エントリー募集告知ポスター/チラシ

コンテストの情報がいち早くチェックできます！

Eco Smileコンテスト 検索

⑧ 仙台経済界 2009年1-2月号

⑨ SIRA WIND 2009年冬号

▲ Date fm 「PUMP UP FRIDAY」

新聞掲載記事

①河北新報 8/23,27,30,9/2,3

②河北新報 11/2

③河北新報 11/10

④河北新報 11/10

⑤河北新報 11/13

⑥三陸新報 11/22

⑦河北新報 1/24

⑧河北新報 2/4

マスコミ報道一覧

日付	マスコミ	内容・団体	写真
2008 6/30	プレス発表	募集開始について	
7/18	Date fm	募集開始について	
7/25	Date fm	昨年度受賞団体紹介(最優秀賞・塩釜市団地水産加工業協同組合)	
8/1	Date fm	昨年度受賞団体紹介(優秀賞・仙台市立北六番小学校)	
8/23	河北新報	募集広告	
8/27	河北新報	募集広告	
8/30	河北新報夕刊	募集広告	①
9/2	河北新報夕刊	募集広告	
9/3	河北新報	募集広告	
9/5	Date fm	募集締め切り直前告知	
9/19	Date fm	応募団体紹介(No.23 飲み食べ事屋ちゅら)	
9/30	OCNエコプラス(ホームページ)	応募団体紹介(No.6 宗教法人長泉寺)	
10/3	Date fm	応募団体紹介(個人)	
10/10	河北新報	県大会出場団体決定記事	②
10/10	Date fm	応募団体紹介(No.5 仙台市八木山動物公園)	
10/17	Date fm	応募団体紹介(No.14 学校法人旭ヶ丘学園旭ヶ丘幼稚園)	
11/2	河北新報	県大会開催広告(出場20団体紹介)	③
11/7	Date fm	県大会告知	

日付	マスコミ	内容・団体	写真
11/10	河北新報	県大会結果記事	④
11/13	河北リアスの風	No.36 エコ・フェスタ実行委員会入賞記事	⑤
11/22	河北新報	受賞団体特集記事	⑥
11/22	三陸新報	No.36 エコ・フェスタ実行委員会入賞記事	⑦
12/25発行	仙台経済界	県大会開催記事	⑧
2009 1/1発行	仙台国際交流協会 広報誌 SIRA WIND	県大会開催記事	⑨
1/11	日本テレビ 「新ニッポン探検隊！」	No.39 仙台市立北六番小学校活動紹介	⑩
1/24	河北新報	No.25 特定非営利活動法人川崎町の資源をいかに活用するか活動特集記事	⑪
1月発行	せんたい百社通信	No.22 高橋恵美子活動紹介	
2/2	NHK仙台放送局 「てれまさむね」	No.39 仙台市立北六番小学校 県知事表敬訪問	
2/2	みやぎテレビ 「OH! バンデス」	No.39 仙台市立北六番小学校 県知事表敬訪問	⑫
2/3	宮城県ホームページ 画像県政ニュース	No.39 仙台市立北六番小学校 県知事表敬訪問	
2/4	河北新報	No.39 仙台市立北六番小学校 県知事表敬訪問	⑬
2/16	河北新報	全国大会 (No.39 仙台市立北六番 小学校審査員特別受賞)	
2/23	Date fm	No.39 仙台市立北六番小学校活動紹介	



ご支援・ご協力ありがとうございました。

COOP
M I Y A G I

みやぎ生活協同組合

【特別協賛】みやぎ生活協同組合
宮城県大会開催に関する新聞の一面広告にご協賛いただきました。



尚絅学院大学

【特別協力】尚絅学院大学
宮城県大会の運営と、特別賞の副賞にご協力をいただきました。

【協賛】優秀賞の副賞贈呈にご協賛をいただきました。

おいしさを笑顔に

KIRIN

キリンビバレッジ株式会社東北地区本部



株式会社サイコー

SHINDEN

株式会社伸電



東北電力株式会社宮城支店



東北労働金庫

TOPPAN

凸版印刷株式会社
凸版印刷株式会社東北事業部



株式会社日専連ライフサービス

MEIJI
明治乳業

明治乳業株式会社東北支店

LN 株式会社 リブネット

株式会社リブネット東北

【後援】

宮城県 仙台市 河北新報社 仙台放送局 TBC東北放送 仙台放送 仙台テレビ KHB東日本放送 Date fm

エコスマは、次回がラストです。またたくさんのやさしさに出会えますように。



ストップ温暖化センターみやぎ
(宮城県地球温暖化防止活動推進センター)
財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)内
〒981-0933
仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階
URL <http://www.melon.or.jp/melon/>
TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710



宮城県 環境生活部 環境政策課
〒980-8570
仙台市青葉区本町三丁目8-1
URL <http://www.ecoinfo-miyagi.jp/>
TEL 022-211-2661 FAX 022-211-2669



この報告書には、有機溶剤を大幅に削減し大気や作業環境にやさしいインキ「大豆油インキ」を使用しています。



この報告書(本文)には、塩素を使わずに漂白したパルプを50%以上用いた紙を使用しています。



この報告書を構成する全ての資材と印刷工程は、環境に配慮したものであり、グリーンプリンティング基準に則った製品です。



この報告書(本文)には、地球を温暖化させない、植物を燃料とするバイオエネルギーを35%以上使用して生産された紙を使用しています。



この報告書(本文)には、古紙パルプを20%含んだ、R20再生紙を使用しています。



この報告書(表紙)には、非木材パルプを重量比10%以上使用した紙を使用しています。



この報告書(本文)には、持続的に管理された森林からの原材料および管理材が使用されています。